



ずるはよくない

ナムス・キム

最近、私は「とある科学のレールガン」というアニメを見ている。そのアニメの主人公達の中に佐天涙子という女の子がいる。涙子の頭はたまごのようで目も丸い形をしているからけっこう美人だと思う。涙子は中学校一年生だが、あまり真面目な学生ではなかった。いい成績をほしがっていたが、勉強はあまりしなかったようだ。でも、そんな涙子を変化させる事件が起こった。

たまには涙子も成績を上げるために勉強を試みたが、なかなか成績が上がらなかった。そんな時、友達から「レベル・アッパー」ということについて聞いた。「レベル・アッパー」というのは、自分が勉強しなくても、聞くだけで頭がよくなる音楽らしい。それで涙子はそれをMP3に入れて毎日一生懸命聞いた。成績があがり始めて涙子がうれしくなってきた時に彼女はとつぜん苦しくなって、ひどい頭痛がして、はきけがした。そんな時、ベッドでテレビを見ていた涙子は「私がずるをするから罰を受けたのか」と思った。ぐうぜんその時ニュースで「レベル・アッパー」の話が出たが、それを使った人々はみんな病気になるって、もう死んだ人もいたようだった。

何日か後で、涙子の病気は治った。「レベル・アッパー」を使った人がみんな必ずしも死ぬわけではないようだった。でも、この事件があって涙子は真面目になった。ずるはよくないことを知った涙子は何でも真面目にしようとした。私もよくずるをして来たが、何かでずるをしたらうまくいかなくて、よくないことが今は分かる。私が見たのは子供っぽいアニメだが、私に何かを教えてくれたかった。

This essay has been reproduced with the permission of N. Kim.